

1 経緯・目的、参加国

- **経緯・目的**：クリーン・エネルギー移行に不可欠な重要鉱物資源（ニッケル、コバルト、レアアース等）のサプライチェーン強靱化を確保するため、米国の主導により、2022年6月に「**鉱物安全保障パートナーシップ（MSP）**」が立ち上げられた。
- 現時点での**参加国**：G7（米、日、英、仏、独、加、伊、EU）、豪、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、エストニア、印、韓国の**15メンバー**。

2 活動

- **4つの柱**：MSPは、①**情報共有と協力**、②**投資ネットワーク**、③**ESG基準の引き上げ**、④**リサイクルとリユース**という**4つの柱**の下で具体的な活動を行っている。
- 環境負荷が高い重要鉱物精錬過程の寡占状況に対処するため、**高い環境・社会・ガバナンス（ESG）基準**の浸透を図り、同基準による戦略的な鉱山開発・精錬・加工、投資の呼び込みを目指している（作業部会にてパイロット・プロジェクトの推進に向けた検討を行っている。）。また、鉱物資源のリサイクル・リユースの実施に今後取り組む予定。

3 開催実績

- **第1回**：2022年6月カナダ・トロントにおいて、重要鉱物サプライチェーンの多角化に向けて参加国が協力すること、最も高いESG基準による投資を促進すること等を内容とする**共同声明を発出**（鈴木外務副大臣が参加。）。
- **第2回**：2022年9月、国連総会ハイレベルウィークのマージンで開催。
- **第3回**：2023年2月、南アで開催されたマイニング・インダバ（鉱山業界の重要問題を協議する会議）のマージンで開催。アフリカの鉱物資源産出国を招待し、ESG基準の強化や持続可能な開発等について議論。ESG基準に係る「責任ある重要鉱物サプライチェーンの原則」を発表（山田外務副大臣が参加。）。
- **第4回**：2023年10月、英国ロンドンにおいて、世界最大規模の非鉄金属先物取引所であるLME（ロンドン金属取引所）ウィークに合わせて開催。
- **第5回**：2024年3月、加トロントにおいて、世界的な鉱山開発企業が集まる国際会議（PDAC）に合わせて開催。
- **第6回**：2024年9月、国連総会ハイレベル・ウィークのマージンで開催。



MSP会合の様子